

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年2月12日

**【四半期会計期間】** 第79期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

**【会社名】** 三洋工業株式会社

**【英訳名】** SANYO INDUSTRIES, LTD.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 菊地政義

**【本店の所在の場所】** 東京都江東区亀戸六丁目20番7号

**【電話番号】** 03(3685)3451(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務部長 小宮山幹生

**【最寄りの連絡場所】** 東京都江東区亀戸六丁目20番7号

**【電話番号】** 03(3685)3451(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務部長 小宮山幹生

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第78期 第3四半期 連結累計期間		第79期 第3四半期 連結累計期間		第78期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年12月31日	自 至	平成24年4月1日 平成24年12月31日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(百万円)		18,347		18,729		28,555
経常損益	(百万円)		248		627		750
四半期(当期)純損益	(百万円)		184		567		566
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)		170		612		630
純資産額	(百万円)		10,123		11,019		10,583
総資産額	(百万円)		21,506		22,025		22,790
1株当たり四半期 (当期)純損益	(円)		5.29		16.29		16.27
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)						
自己資本比率	(%)		45.8		48.6		45.1

回次		第78期 第3四半期 連結会計期間		第79期 第3四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年10月1日 平成23年12月31日	自 至	平成24年10月1日 平成24年12月31日
1株当たり四半期純損益	(円)		6.37		9.66

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月～平成24年12月）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要に支えられ景気は緩やかな回復傾向にありましたが、欧州債務危機の長期化による海外経済の低迷や中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化、さらには長引く円高基調など、景気の先行きは依然として不安定な状況で推移いたしました。

当社グループの関連する建築関係におきましては、政府による住宅取得支援策の効果や低金利を背景に、新設住宅着工戸数が底堅く推移し、民間非居住建築物においても着工床面積が対前年実績を上回るなど改善の動きが見られましたが、伸び率は限定的であり、経営環境は依然として厳しい状況にありました。

このような状況の中で当社グループは、主力重点商品や成長戦略商品の販売強化に加え、設計指定活動や新規顧客開拓に注力するほか、コスト競争力の向上を図るため、仕入価格や製造加工費等の継続的な低減活動を推し進めるなど、全力で収益の確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高18,729百万円（前年同期比2.1%増）となり、利益面では、営業利益563百万円（前年同期比210.4%増）、経常利益627百万円（前年同期比152.3%増）、四半期純利益567百万円（前年同期比208.0%増）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントを従来の「三洋工業」、「システム子会社」及び「スワン商事」の3区分から、「スワン商事」について量的な重要性が乏しくなったため、「三洋工業」及び「システム子会社」の2区分に変更しております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

#### 三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、戸建住宅用の製品が住宅着工戸数の伸長に伴い好調に推移しましたが、ビルや商業施設用等の製品においては、依然として厳しい市況環境の中で受注量が落ち込んだことなどから、軽量壁天井下地全体の売上高は減少となりました。

床システムにつきましては、主力製品であるスポーツ施設用の鋼製床下地材製品が、学校体育館等の復旧・改修工事の受注増により売上高が堅調に推移したほか、集合住宅用の遮音二重床下地材製品においてもマンションや病院・福祉施設等を中心に工事受注の改善が見られました。また、環境配慮型製品である分別リサイクル可能なスチール製OAフロアや再生木材を使用したデッキフロアなどの受注量も好調であったことなどから、床システム全体の売上高は増加となりました。

アルミ建材につきましては、緊急対応的な復旧工事に落ち着きが見られたことから、エキスパンション・ジョイントカバーの売上高が減少に転じましたが、主力製品であるアルミ笠木や手すりおよび外装パネルなどが新築・改修物件等に幅広く採用されたことなどから、アルミ建材全体の売上高は増加となりました。

この結果、売上高は15,217百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益365百万円（前年同期比489.7%増）となりました。

#### システム子会社

当社の子会社であるシステム会社（株式会社三洋工業九州システムほか）におきましては、主力取扱製品である鋼製床下地材製品が、復旧・改修工事を追い風に売上高が増大したほか、耐震天井やシステム天井、さらには環境配慮型製品であるデッキフロア等についても、社会的にニーズに対応した製品として市場に受け入れられ、システム会社全体の売上高は3,897百万円（前年同期比15.3%増）、セグメント利益は129百万円（前年同期比167.5%増）となりました。

#### その他

その他につきましては、売上高639百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は30百万円（前年同期比46.6%増）となりました。

### （２）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、主に現金及び預金や商品及び製品が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ765百万円減少し、22,025百万円となりました。

負債につきましては、主に支払手形及び買掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ、1,200百万円減少し、11,006百万円となりました。

純資産は、当第3四半期連結累計期間が四半期純利益となったことにより、前連結会計年度末に比べ、435百万円増加し、純資産合計は11,019百万円となりました。

### （３）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### （４）研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は102百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	35,200,000	35,200,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株で あります。
計	35,200,000	35,200,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日		35,200,000		1,760		1,168

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 381,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 34,648,000	34,648	
単元未満株式	普通株式 171,000		
発行済株式総数	35,200,000		
総株主の議決権		34,648	

(注) 1 単元未満株式数には当社所有の自己株式649株が含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 三洋工業株式会社	東京都江東区亀戸 六丁目20番7号	381,000		381,000	1.08
計		381,000		381,000	1.08

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,216	3,345
受取手形及び売掛金	2 11,629	2 8,857
有価証券	469	469
商品及び製品	1,790	2,751
仕掛品	100	92
原材料及び貯蔵品	758	697
繰延税金資産	24	28
その他	60	62
貸倒引当金	156	141
流動資産合計	16,891	16,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,767	1,784
機械装置及び運搬具（純額）	488	510
土地	2,389	2,360
その他（純額）	178	105
有形固定資産合計	4,822	4,760
無形固定資産		
	33	44
投資その他の資産		
投資有価証券	356	375
繰延税金資産	3	3
その他	834	803
貸倒引当金	151	124
投資その他の資産合計	1,042	1,057
固定資産合計	5,898	5,862
資産合計	22,790	22,025



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,843	6,567
短期借入金	884	934
未払法人税等	163	135
賞与引当金	292	48
役員賞与引当金	22	16
その他	996	1,353
流動負債合計	10,202	9,055
固定負債		
社債	300	300
繰延税金負債	15	33
退職給付引当金	1,286	1,220
その他	402	396
固定負債合計	2,004	1,950
負債合計	12,207	11,006
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	7,428	7,821
自己株式	106	107
株主資本合計	10,250	10,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	55
その他の包括利益累計額合計	24	55
少数株主持分	308	320
純資産合計	10,583	11,019
負債純資産合計	22,790	22,025

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	18,347	18,729
売上原価	13,976	13,901
売上総利益	4,371	4,827
販売費及び一般管理費	4,189	4,263
営業利益	181	563
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	9	9
受取賃貸料	82	95
その他	28	30
営業外収益合計	126	140
営業外費用		
支払利息	12	13
不動産賃貸費用	44	57
その他	2	5
営業外費用合計	59	76
経常利益	248	627
特別利益		
固定資産売却益	-	128
受取保険金	48	-
特別利益合計	48	128
特別損失		
固定資産除却損	7	30
災害による損失	34	-
施設利用権評価損	2	-
特別損失合計	44	30
税金等調整前四半期純利益	253	725
法人税等	61	143
少数株主損益調整前四半期純利益	191	581
少数株主利益	7	14
四半期純利益	184	567

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	191	581
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	20	30
その他の包括利益合計	20	30
四半期包括利益	170	612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163	598
少数株主に係る四半期包括利益	7	14

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更が損益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
<b>税金費用の計算</b> 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形割引高	40百万円	10百万円
受取手形裏書譲渡高	15百万円	17百万円

- 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	294百万円	286百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	277百万円	252百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	69	2.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当3第四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	87	2.50	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月7日 取締役会	普通株式	87	2.50	平成24年9月30日	平成24年12月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	三洋工業	システム 子会社	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,479	3,297	17,776	570	18,347
セグメント間の内部売上高 又は振替高	678	83	762	57	819
計	15,158	3,380	18,539	628	19,167
セグメント利益	61	48	110	20	131

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フジオカエアータイト株式会社及びスワン商事株式会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	110
「その他」の区分の利益	20
セグメント間取引消去	50
四半期連結損益計算書の営業利益	181

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	三洋工業	システム 子会社	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,429	3,815	18,244	484	18,729
セグメント間の内部売上高 又は振替高	787	82	870	155	1,025
計	15,217	3,897	19,114	639	19,754
セグメント利益	365	129	494	30	525

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フジオカエアータイト株式会社及びスワン商事株式会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	494
「その他」の区分の利益	30
セグメント間取引消去	38
四半期連結損益計算書の営業利益	563

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、報告セグメントを従来の「三洋工業」、「システム子会社」及び「スワン商事」の3区分から、「スワン商事」について量的な重要性が乏しくなったため、「三洋工業」及び「システム子会社」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	5円29銭	16円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	184	567
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	184	567
普通株式の期中平均株式数(千株)	34,821	34,818

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第79期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当について、平成24年11月7日開催の取締役会において、平成24年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 87百万円  
 1株当たりの金額 2円50銭  
 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成24年12月6日



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月12日

三洋工業株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 笛 木 忠 男 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 田 中 量 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三洋工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三洋工業株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。